

# 第40期(2013年6月期)決算説明会資料

2013年8月27日

(2012年7月1日→2013年6月30日)



# 1. 会社概要

---



## 【会社概要】

**FUJIKOH**

設立（登記）	1974年2月（創業1972年3月）
本社所在地	東京都台東区駒形二丁目7番5号 前川ビル5階
事業内容	建設系リサイクル事業／食品系リサイクル事業／白蟻解体工事
資本金	2億 9,459万円（2013年6月末現在）
売上高	22億 2,657万円（2013年6月期）
経常利益	2億 2,303万円（2013年6月期）
従業員数	91名（2013年6月現在）
関係会社	(株)遊楽ファーム……有機農産物の生産販売 農作物栽培試験 (株)里山 ……電力の小売販売

住宅の害虫防除・白蟻駆除工事からスタート

白蟻の新築工事受注に向け、解体工事を開始

解体工事の廃棄物処理を目的に廃棄物処理業を開始

事業拡大に向け食品リサイクル事業を開始

CO<sub>2</sub>の削減と適正処理、高収益を目的に発電事業を開始

建設系、食品系、一般廃棄物のリサイクル事業

## ■ 建設系リサイクル事業

首都圏近郊の廃棄物処理会社、ハウスメーカー並びに工場、倉庫、ショッピングセンター等からの委託を受け、木くず、紙くず、廃プラスチック類、がれき類等の産業廃棄物及び一般廃棄物を焼却、破碎、リサイクル処理を行っております。発電施設では、受入れた木くず等のバイオマス(生物資源)を原料とした発電により、温室効果ガスの削減を推進し、自然エネルギーとして付加価値の高い電力販売を行っております。

## ■ 食品系リサイクル事業

食品関連事業者等からの委託を受け、リサイクルが可能な食品循環資源である産業廃棄物及び一般廃棄物を、発酵分解による堆肥化、メタン発酵による発電、乾燥及び発酵による飼料化へのリサイクル処理を行っております。当社が保有する養豚施設において、リサイクル製品であるリキッドフィードを利用して、豚の肥育を行っております。再生堆肥の品質向上を目的として、農地での栽培試験及び農作物の生産販売を(株)遊楽ファームにて行っております。

## ■ 白蟻解体工事(白蟻防除・家屋解体工事)

建築関連事業者等からの依頼により、住宅及びアパート等の解体工事、白蟻予防工事の見積調査及び施工を主として行っております。あわせて、リフォーム会社からの依頼により、既存住宅の白蟻防除工事、家屋害虫の駆除工事等を行っております。

## 【当社の特徴】

・許可品目が多い(民間では少ない一般廃棄物処分業許可)

・取扱い廃棄物の多様化(建設、食品工場、製造業、飲食等)

・創業時から社会的に意義のある事業活動

・最新鋭の処理施設と技術導入 「信頼と安心感」

・食品リサイクル事業のパイオニア 「農業との連携」

・廃棄物処分業としてのバイオマス発電 「収益と環境」

### 『住まいと環境』を守る

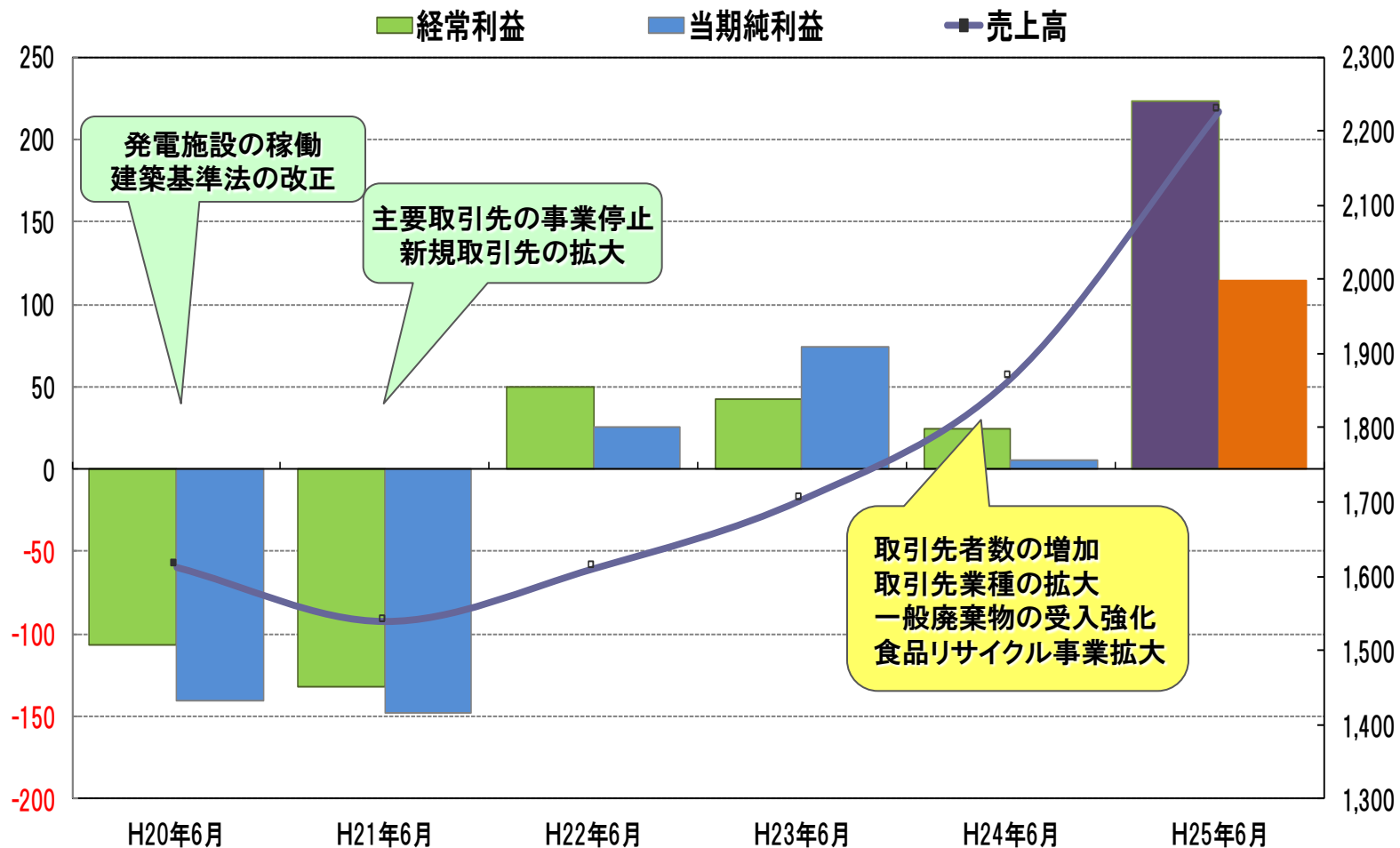
当社では、住宅を木材害虫や衛生害虫から守り、自然界では昆虫類と共存することを理念としました。時代とともに変化し、現在では、里山の保護や廃棄物による環境破壊の防止も追加しております。

**建設系リサイクル事業の経験を生かして  
食品系及びバイオマスリサイクル事業の拡大**

**新技術の開発によって、廃棄物を  
エネルギー資源として活用する事業に注力**

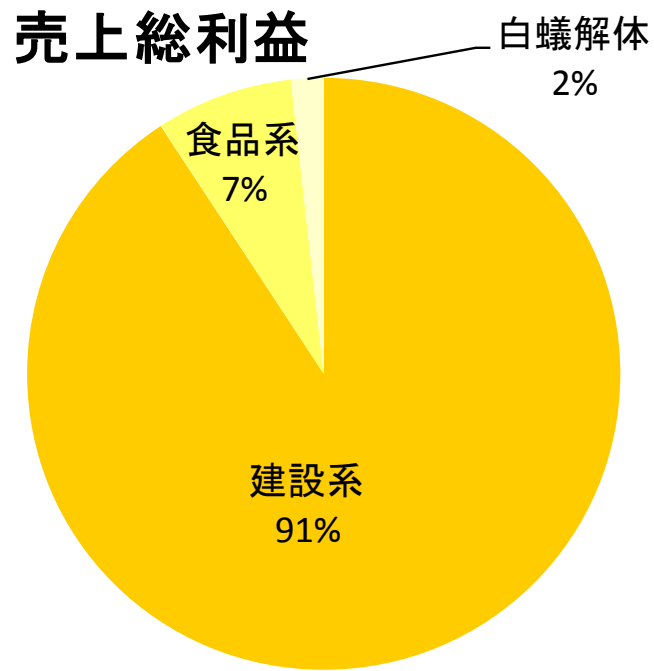
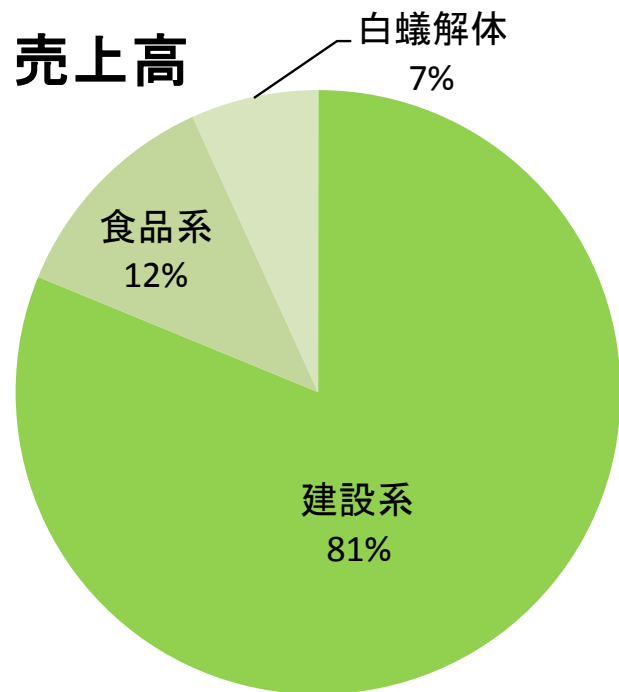
# 【決算ハイライト】

(単位: 百万円)





## 平成25年6月期(2013年6月期)損益実績



## 2. 第40期(2013年6月期)決算概要



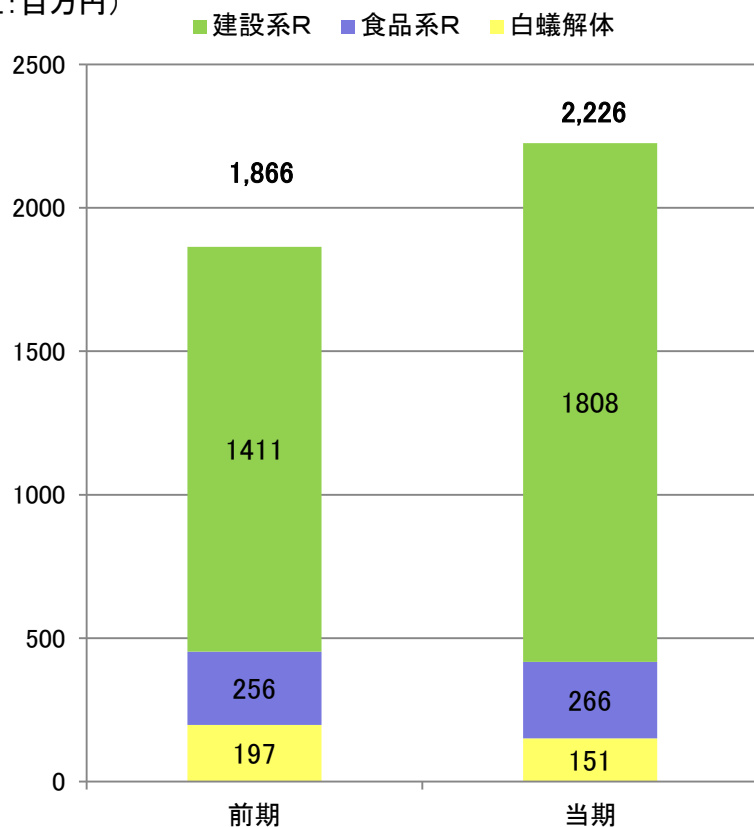
# 【決算ハイライト】

12年8月9日発表

(単位:百万円)	前期実績	当期予想	当期実績	予想増減	前期増減
売上高	1,866	1,930	2,226	296	360
営業利益	97	130	278	148	181
経常利益	24	70	223	153	199
当期純利益	5	30	114	84	109
EPS (円)	2.11	11.72	36.58	24.86	34.47

・売上高 2,226百万円(前期比 19.3%増)

(単位:百万円)



## 建設系リサイクル事業

前期の改修工事の反動

焼却施設40.4%、発電施設20.4%

その他施設も数量増加

## 食品系リサイクル事業

堆肥化29.2%減 飼料化37.8%増

飼料化の増加が

堆肥化の減少を上回る

銚田ファームの販売単価向上

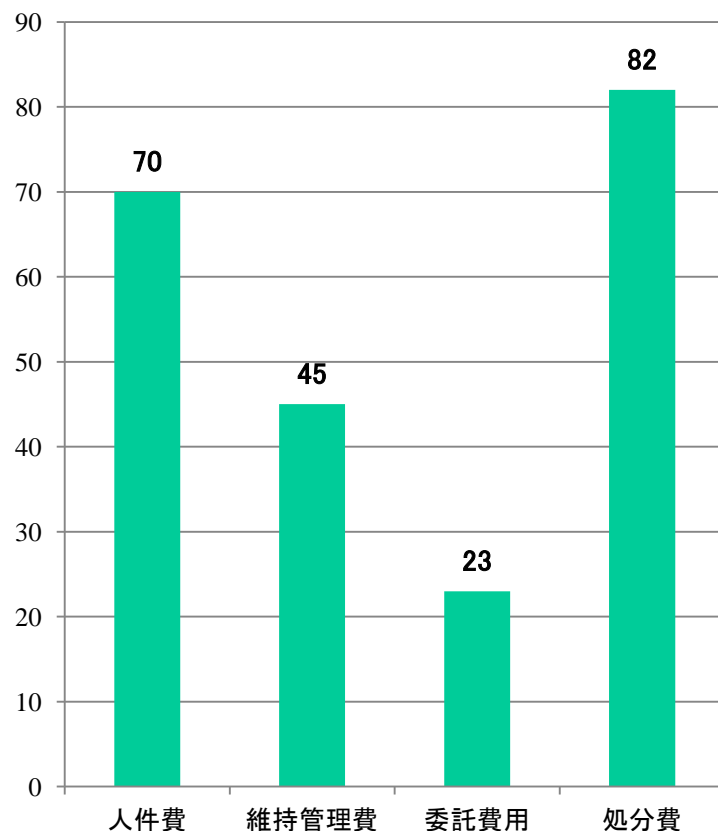
## 白蟻解体工事

工事体制の縮小により工事件数減少

# 【決算ハイライト分析 前期比】

・売上原価 1,744百万円(前期比 11.3%増)

(単位:百万円)



## 人件費

営業強化・業績賞与

## 維持管理費

稼働日数向上に向け、先行的な  
点検・交換工事の実施

## 委託費用

飼料の販売、営業委託

## 埋立処分費用

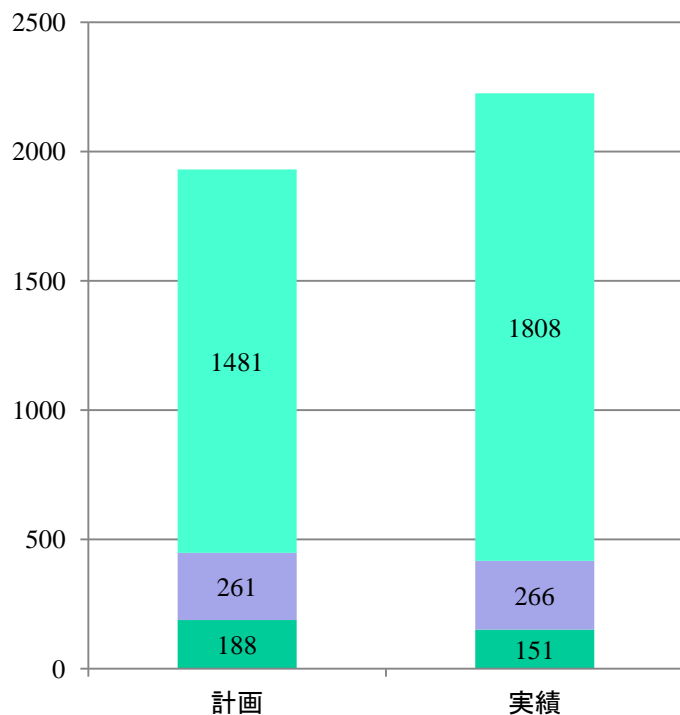
受入数量の増加

# 【決算ハイライト分析 計画比】

(単位:百万円)

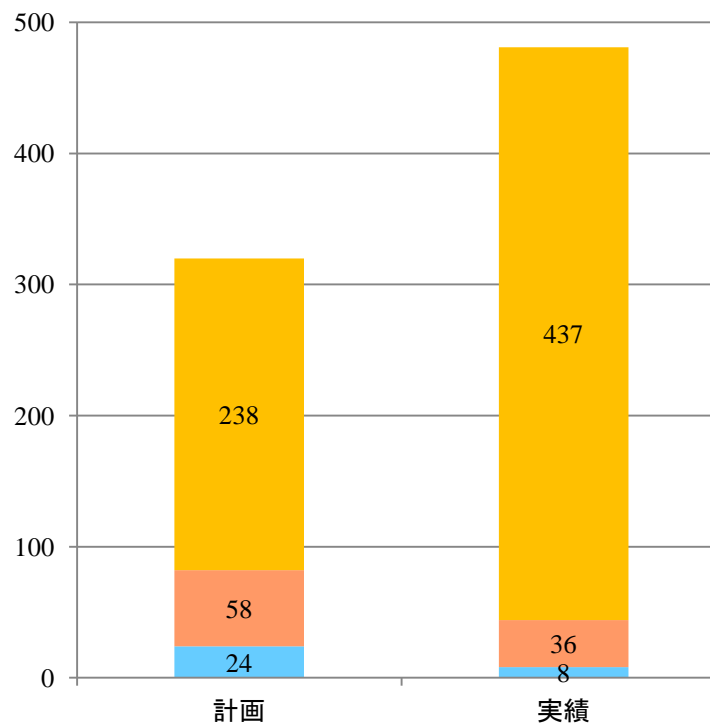
## 売上高の比較

■ 建設系R ■ 食品系R ■ 白蟻解体



## 売上総利益の比較

■ 建設系R ■ 食品系R ■ 白蟻解体



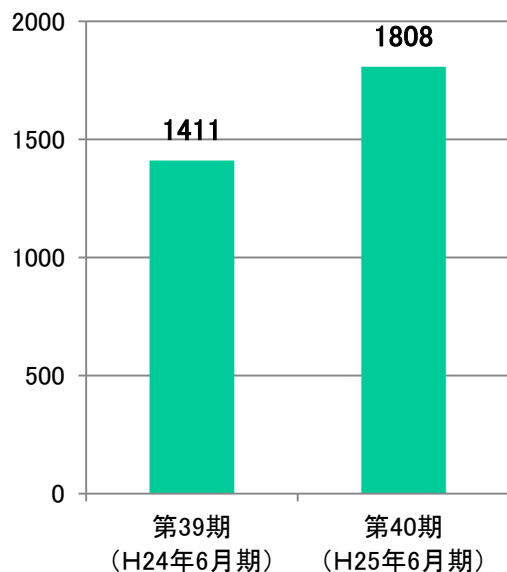
# 【決算ハイライト セグメント別】

## 【建設系リサイクル事業】

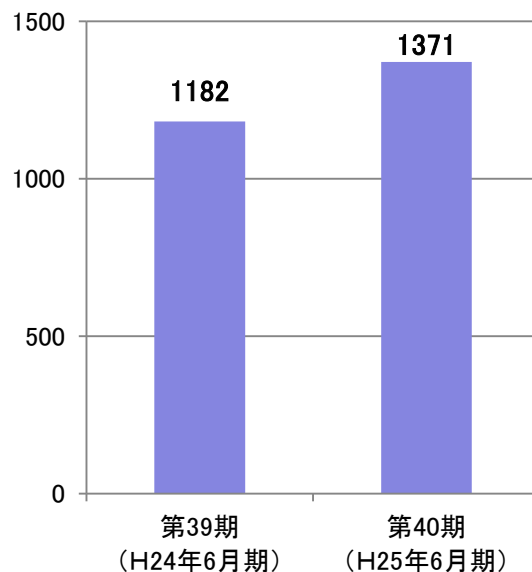
(単位:百万円)

売上高	1,808百万円(前期比28.1%増)
売上原価	1,371百万円(前期比16.0%増)
売上総利益	437百万円(前期比90.8%増)

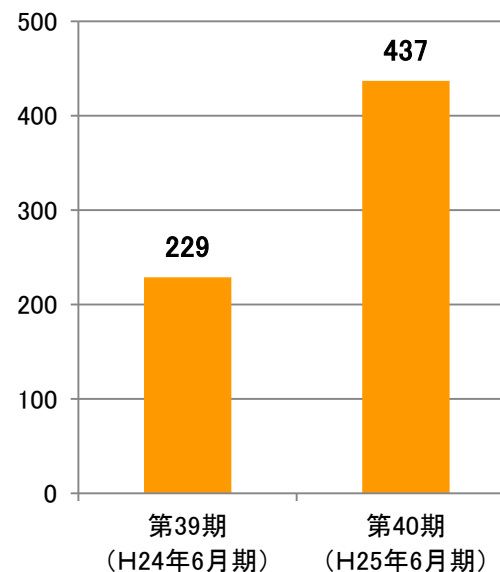
### 売上高



### 売上原価



### 売上総利益



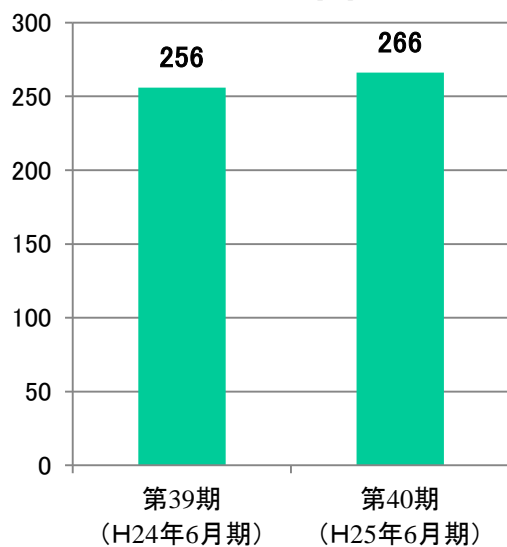
# 【決算ハイライト セグメント別】

## 【食品系リサイクル事業】

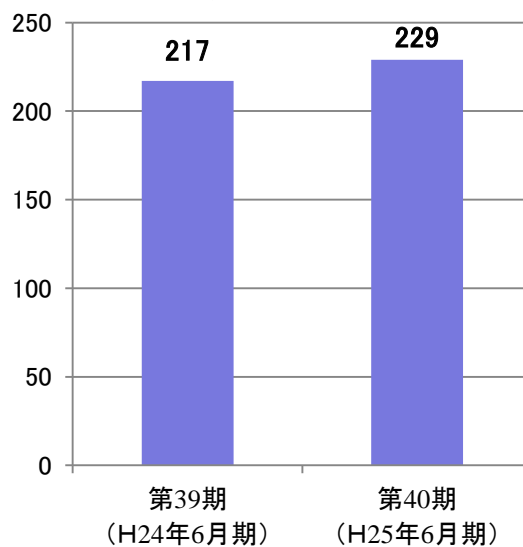
(単位:百万円)

売上高	266百万円(前期比 3.8%増)
売上原価	229百万円(前期比 5.7%増)
売上総利益	36百万円(前期比 6.6%減)

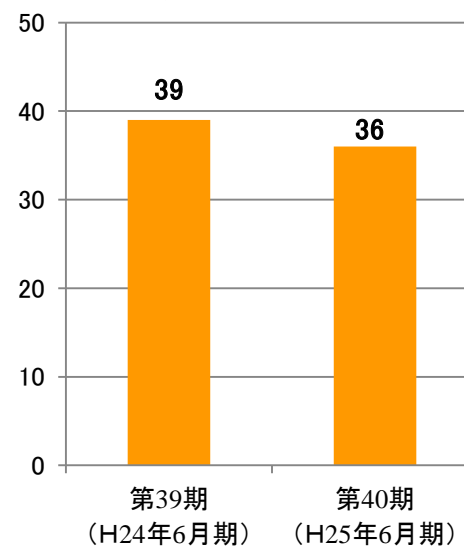
### 売上高



### 売上原価



### 売上総利益





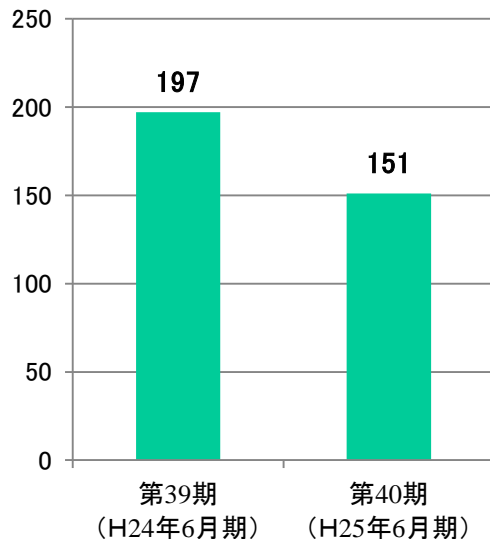
# 【決算ハイライト セグメント別】

## 【白蟻解体工事】

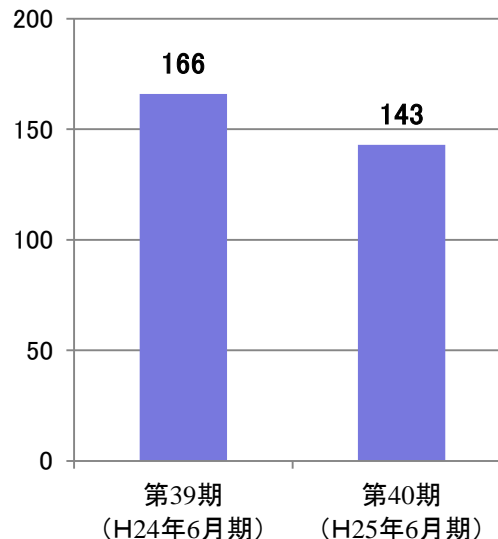
(単位:百万円)

売上高	151百万円(前期比 23.3%減)
売上原価	143百万円(前期比 14.0%減)
売上総利益	8百万円(前期比 73.3%減)

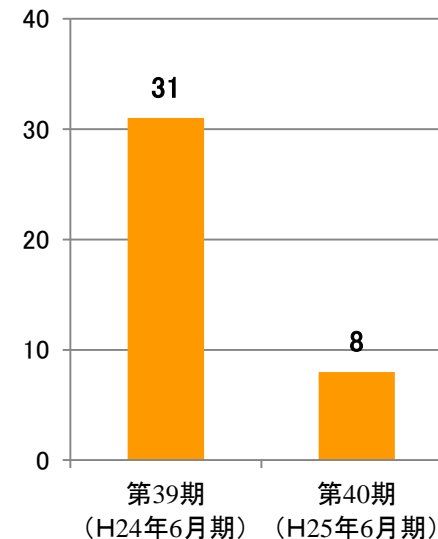
### 売上高



### 売上原価



### 売上総利益



# 【損益計算書の概要】

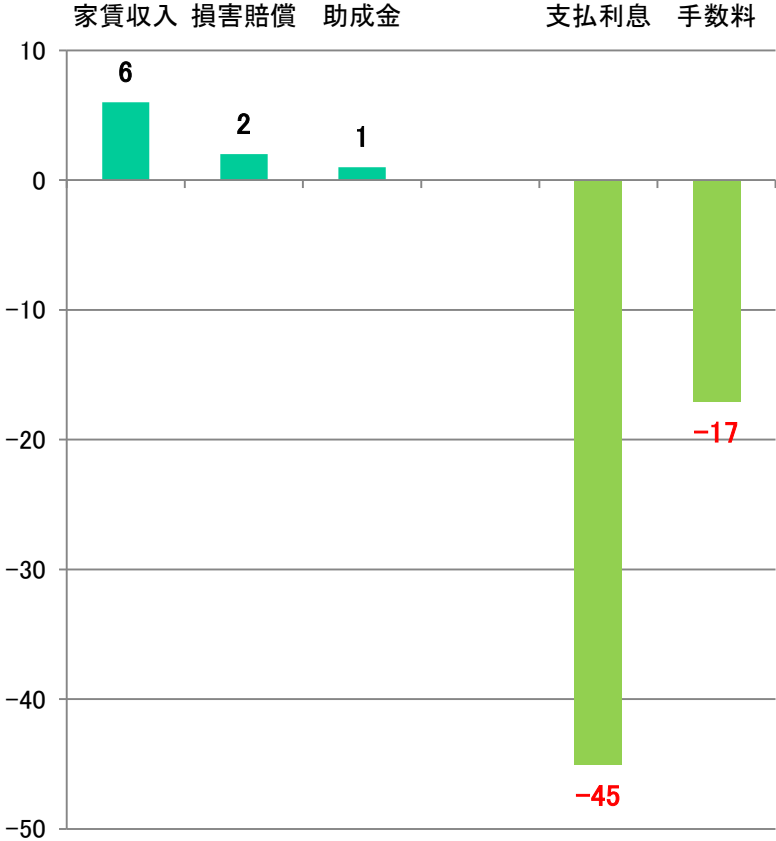
(単位:千円)	前期	当期	前期増減額	前期比%
	12年6月期	13年6月期		
売上高	1,866,014	2,226,570	360,556	119.3
売上原価	1,565,498	1,744,276	178,778	111.4
売上総利益	299,515	482,293	182,778	161.0
販売費一般管理費	201,521	203,918	2,397	101.2
営業利益	97,993	278,374	180,381	284.1
営業外収益	3,503	14,033	10,530	400.6
営業外費用	76,993	69,372	-7,621	90.1
経常利益	24,503	223,034	198,531	910.2
特別利益	13,891	2,399	-11,492	17.3
特別損失	18,285	40,555	22,270	221.8
税前当期純利益	20,109	184,879	164,770	919.4
法人税等	13,139	70,392	57,253	535.7
当期純利益	5,407	114,487	109,080	2,117.4

# 【損益計算書の概要】

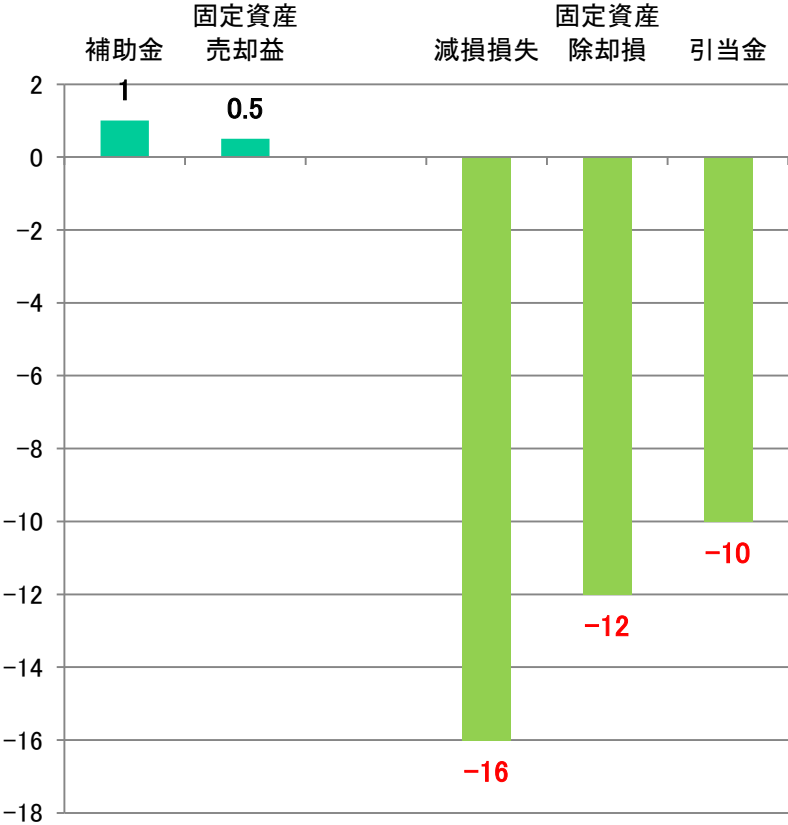


(単位:百万円)

## 営業外収益・費用



## 特別利益・損失



# 【セグメント別損益の概要】

売上高	(単位:千円)	前期	当期	前期増減額	前期比%
		12年6月期	13年6月期		
	建設系リサイクル事業	1,411,761	1,808,622	396,860	128.1
	食品系リサイクル事業	256,623	266,359	9,736	103.8
	白蟻解体工事	197,629	151,588	-46,041	76.7
	売上高	1,866,014	2,226,570	360,555	119.3

売上原価	(単位:千円)	前期	当期	前期増減額	前期比%
		12年6月期	13年6月期		
	建設系リサイクル事業	1,182,374	1,371,056	188,681	116.0
	食品系リサイクル事業	217,592	229,923	12,321	105.7
	白蟻解体工事	166,531	143,296	-23,234	86.0
	売上原価	1,566,498	1,744,276	177,777	111.3

売上総利益	(単位:千円)	前期	当期	前期増減額	前期比%
		12年6月期	13年6月期		
	建設系リサイクル事業	229,386	437,566	208,179	190.8
	食品系リサイクル事業	39,030	36,435	-2,595	93.4
	白蟻解体工事	31,098	8,291	-22,806	26.7
	売上総利益	299,515	482,293	182,778	161.0

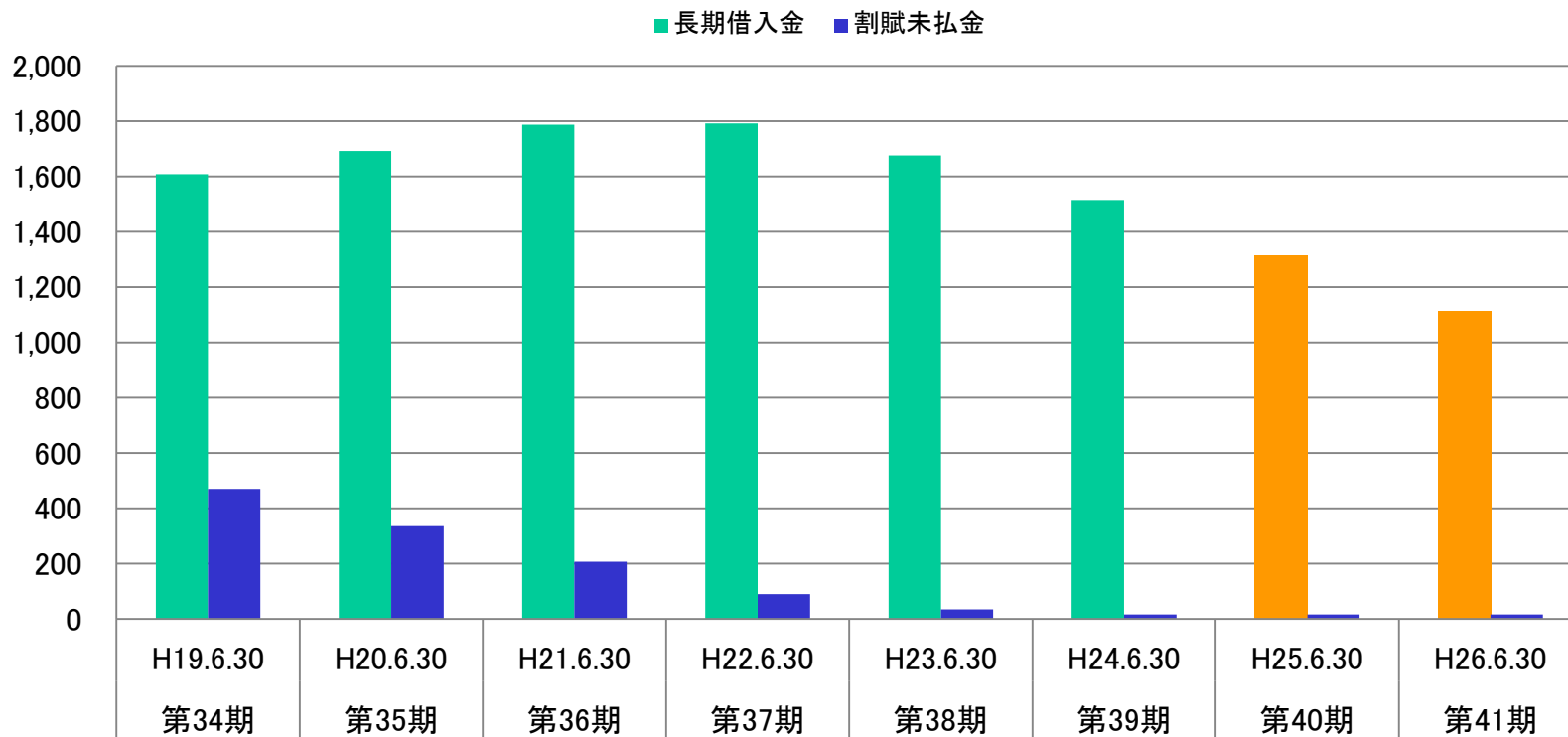
# 【貸借対照表の概要】

(単位:千円)	前期	当期	前期増減額	前期比%
	12年6月期	13年6月期		
流動資産	336,643	674,894	338,251	200.5
固定資産	2,546,152	2,307,054	-239,098	90.6
資産 合計	2,882,796	2,981,949	99,153	103.4
流動負債	596,678	670,144	73,466	112.3
固定負債	1,386,855	1,158,324	-228,531	83.5
負債 合計	1,983,534	1,828,468	-155,066	92.2
純資産	899,262	1,153,480	254,218	128.3
(自己資本比率)	31.2%	38.7%	7.5%	124.0
負債・資本 合計	2,882,796	2,981,949	99,153	103.4

# 【有利子負債の状況】

・平成25年1月～12月 毎月 16,667千円返済での延長契約の締結

## 有利子負債等の残高推移



# 【キャッシュフローの概要】

(単位:千円)	前期	当期	前期増減額	前期比%
	12年6月期	13年6月期		
営業活動によるCF	288,467	575,892	287,425	199.6
投資活動によるCF	-139,845	-93,229	46,616	66.7
財務活動によるCF	-185,268	-208,700	-23,432	—
期末残高	13,048	287,011	273,963	2,199.7
フリーCF	148,622	482,663	334,041	324.8

# 【キャッシュフローの概要】

## ① 営業CFの概況

(単位:千円)	前期	当期	前期増減額	前期比%
	12年6月期	13年6月期		
税金等調整前当期純利益	20,109	184,879	164,770	919.4
減価償却費	263,978	248,765	-15,213	94.2
未払費用の増減	9,590	71,829	62,239	749.0
売上債権の増減	-27,206	-34,714	-7,508	127.6
仕入債務の増減	7,781	61,164	53,383	786.1
支払利息	56,886	45,980	-10,906	80.8
たな卸資産の増減額	-12,118	-1,037	11,081	8.6
その他	-30,553	-974	29,579	3.2
営業CF・計	288,467	575,892	287,425	199.6



# 【キャッシュフローの概要】

## ② 財務CFの概況

(単位:千円)	前期	当期	前期増減額	前期比%
	12年6月期	13年6月期		
短期借入金の増減額	37,937	-93,892	-131,829	—
長期借入れによる収入	0	0	0	—
長期借入金の返済による支出	-198,781	-197,740	1,041	99.5%
社債の発行による収入	20,000	-20,000	-40,000	—
割賦未払金の返済による支出	-19,336	-14,568	4,768	75.3%
リース債務の返済による支出	-27,978	-22,230	5,748	79.5%
株式の発行による収入	15,651	152,539	136,888	974.6%
配当金の支払額	-12,762	-12,807	-45	—
財務CF・計	-185,268	-208,700	-23,432	112.6%

### 3. 第41期(2014年6月期)業績見通し



# 【第41期(2014年6月期)業績見通し】



(単位:百万円)	前期実績	当期予想	前期増減額	前期比%
	13年6月期	14年6月期		
売上高	2,226	2,313	87	103.9
売上原価	1,744	1,814	70	104.0
売上総利益	482	498	16	103.3
販売管理費	204	198	-6	97.1
営業利益	278	300	22	107.9
営業外収益	14	9	-5	64.3
営業外費用	69	49	-20	71.0
経常利益	223	260	37	116.6
当期純利益	114	140	26	122.8
EPS (円)	36.58	44.00	7.42	120.3

# 【第41期(2014年6月期)業績見通し】

## ① セグメント別 売上高の計画概況

(単位:百万円)	前期実績	当期計画	増減額	前期比%
	13年6月期	14年6月期		
建設系リサイクル事業	1,808	1,843	35	101.9
食品系リサイクル事業	266	280	14	105.3
白蟻解体工事	151	190	39	125.8
<b>売上高</b>	<b>2,226</b>	<b>2,313</b>	<b>87</b>	<b>103.9</b>

## ② セグメント別 売上総利益の計画概況

(単位:百万円)	前期実績	当期計画	増減額	前期比%
	13年6月期	14年6月期		
建設系リサイクル事業	437	434	-3	99.3
食品系リサイクル事業	36	53	17	147.2
白蟻解体工事	8	11	3	137.5
<b>売上総利益</b>	<b>482</b>	<b>498</b>	<b>16</b>	<b>103.3</b>

# 【第41期(2014年6月期)業績見通し】

## 【建設系リサイクル事業】

焼却発電施設	受入数量	横ばい	受入平均単価	1.8%増	売上微増
その他施設	受入数量	微増	受入平均単価	微増	売上微増
発電施設	売電数量	2%減	売電平均単価	9%増	

## 【食品系リサイクル事業】

受入数量	堆肥化微減	飼料化増加	合計	横ばい
受入平均単価	堆肥化横ばい	飼料化微減	合計	横ばい
銚田ファーム	出荷頭数	微増	販売単価	26%増

## 【解体・白アリ工事】

解体工事	工事件数増加、単価前期並み
白蟻工事	神奈川・東京は新築、既存工事ともに増加

## 4. 今後の取り組み

---



## 【今後の取り組み】

- ・特に近年は地球温暖化防止を目的としたCO<sup>2</sup>の削減  
バイオマスの資源化・廃棄物のエネルギー活用 電力・燃料への変換

## 【食品系リサイクル事業】

- ・中長期的な成長戦略により堆肥化から飼料化への転換
- ・鉾田ファームを営業拠点として、液状化飼料の販売を推進
- ・受入価格の安定した常温保存の包装食品の営業推進
- ・運輸倉庫会社との協力体制により、受入拡大に注力

### ・中期的な事業課題 強化すべき取り組み

- ・建設系リサイクル事業の収益安定化
- ・食品系リサイクル事業の飼料供給量の増加に対応

### ・全国的な電力不足と新エネルギー電力需要の増加に対応

- ・バイオマス及び廃棄物を活用する発電施設の事業化に向けた取り組みを進めることにより、事業規模の拡大

### 当社としての対処すべき課題

- ・効率的な運営、経営管理に対応可能な管理者の育成
- ・機動的な事業展開が可能な財務体質の改善



## ・森林資源を活用したバイオマス発電施設の事業化検討

- ・需要が減少している森林資源の活用
- ・地域の雇用創出と林業の活性化
- ・自然エネルギーによるCO<sup>2</sup>フリーの電力創出
- ・年間7～8万トンの木材で、40,000MWhの電力供給が可能
- ・発電コストは22円/kWh前後（内 燃料である木材仕入13円前後）
- ・従来の売電単価は10～13円前後 固定価格買取制度24円

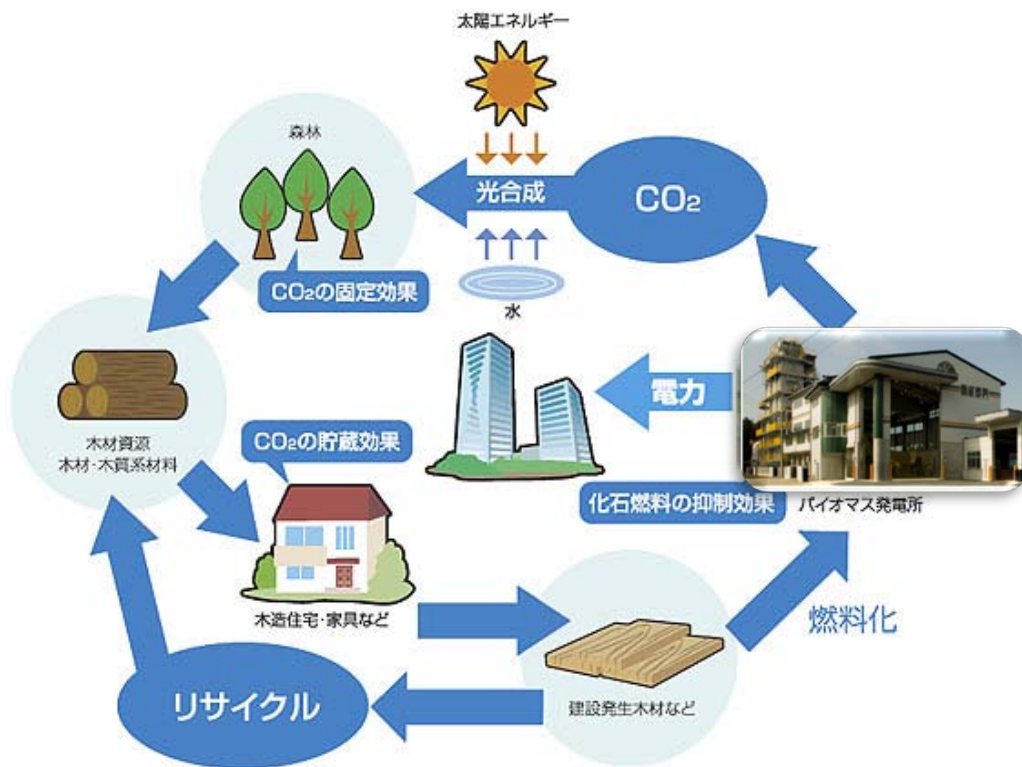
## ・廃プラスチックを活用した発電施設の事業化検討

- ・廃プラスチック類等の高カロリー廃棄物を活用
- ・バイオマス混合によりCO<sup>2</sup>フリーの電力創出
- ・発電コストは15円/kWh前後

# 【バイオマス発電の環境的意義】

バイオマス発電は、動植物に由来する有機物であって、エネルギー源として利用できるものを燃料とし、環境付加価値の高い新エネルギーを生み出しているものです。

フジコーが白井市において運営管理するバイオマス発電所は、建築現場から発生する木くずや街路樹、果樹園の選定枝を燃料として発電しております



フジコー白井発電所は

電気の**CO<sub>2</sub>係数ゼロ**

すなわち

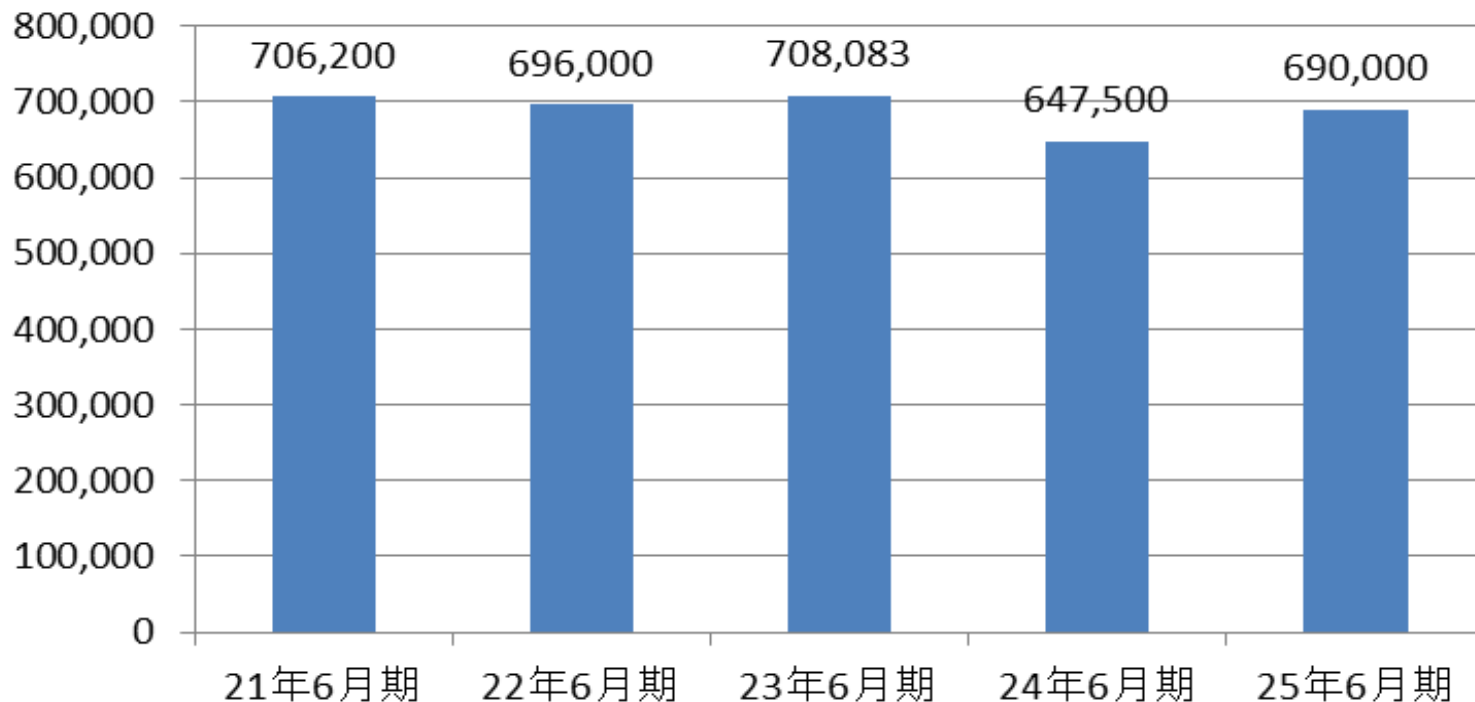
CO<sub>2</sub>を一切排出しない

グリーン電力として

経済産業省から認定を受けています。

## 月平均売電数量

(単位: kWh)



廃棄物をエネルギー源として発電を行うことにより、発生電力の売電収益に廃棄物処理の売上がプラスされるため、安定的な収益基盤の確立と投資コストの早期回収が実現可能。

## 【CO<sup>2</sup> 排出量の削減】

年間発電総量 : 12,000MWh × 0.464トン = 5,568トン

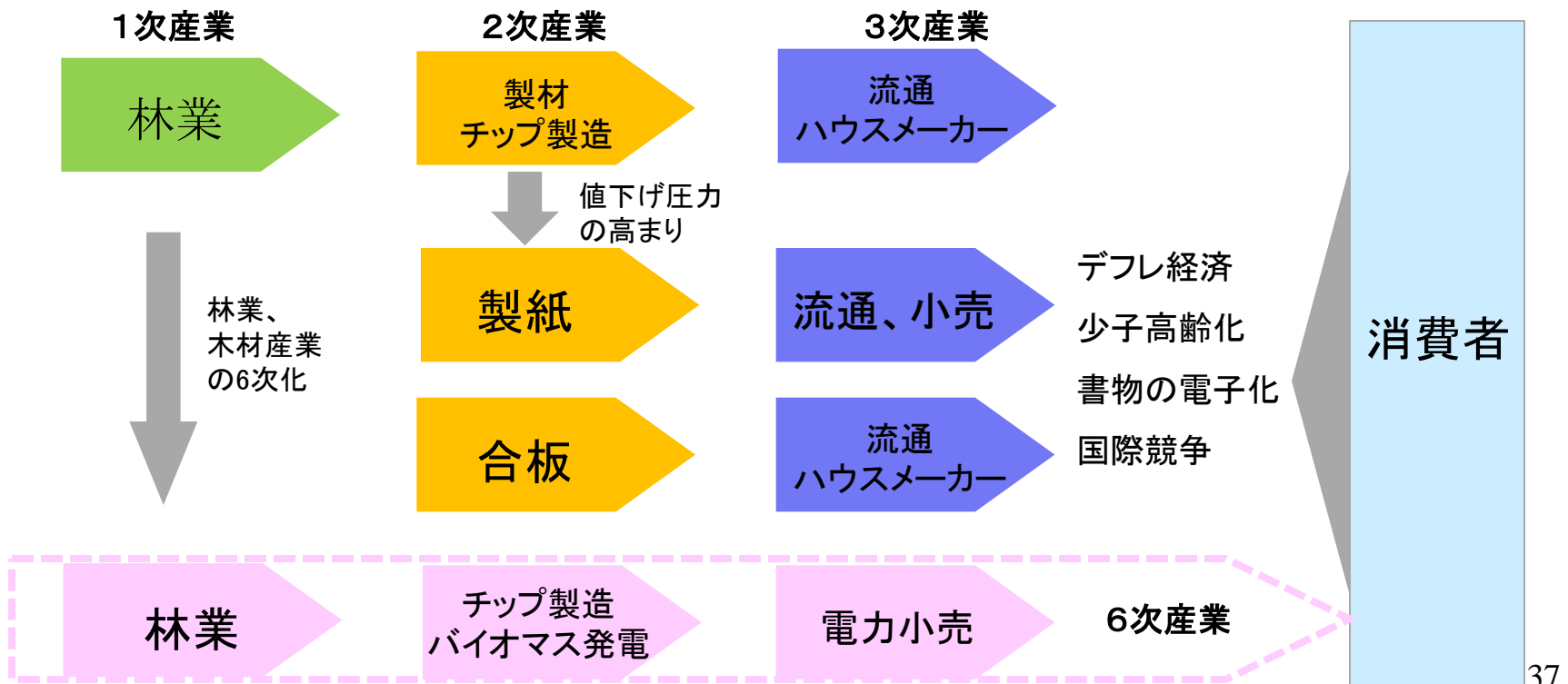
- 1年間で約5,000トンのCO<sup>2</sup>の削減
- 東京ドーム450個分の杉林が1年間に  
吸収するCO<sup>2</sup>量に相当

※CO<sup>2</sup>削減量は環境省地球環境局が平成24年11月6日に公表している平成23年度の電気事業者ごとの実排出係数を基に当社が算出しております。

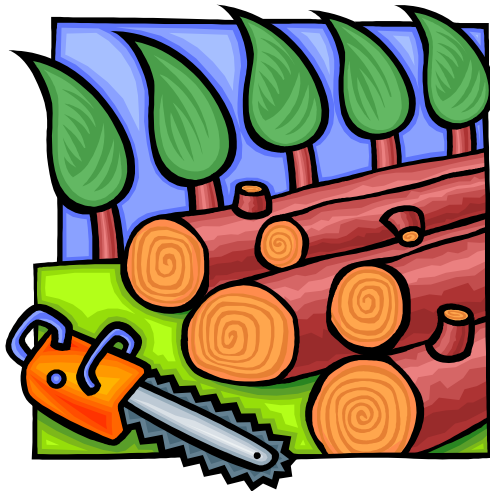
森林のCO<sup>2</sup>吸収量については、(独)森林総合研究所が出している樹齢40年の杉のCO<sup>2</sup>吸収量2.3t/ha・年を基に当社が算出しております。

# 【バイオマス発電事業のモデル】

- 木材産業の6次化による、……「木材産業の収益向上」、「もうかる林業・製材業」
- 国産材の利用が促進され、……「山への資金還元」、「林業再生」
- 未利用材の有効利用と植林で、……「山の活性化」、「CO<sup>2</sup>の吸収」
- 木材産業の幅が広がることで、……「山間地域の雇用創出」、「地域経済の発展」
- バイオマス発電による、……「グリーン電力の創出」、「エネルギーの地産地消」



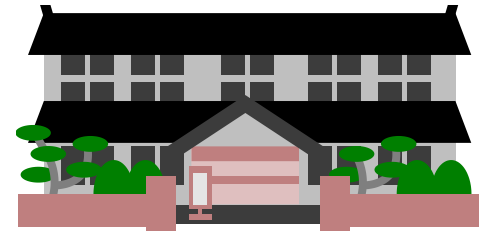
# 【バイオマス発電事業の概略】



半径50km圏内の山から、  
C,D材や枝葉を切り出し、  
A,B材と一緒に搬出



製材工場から発生する木くず

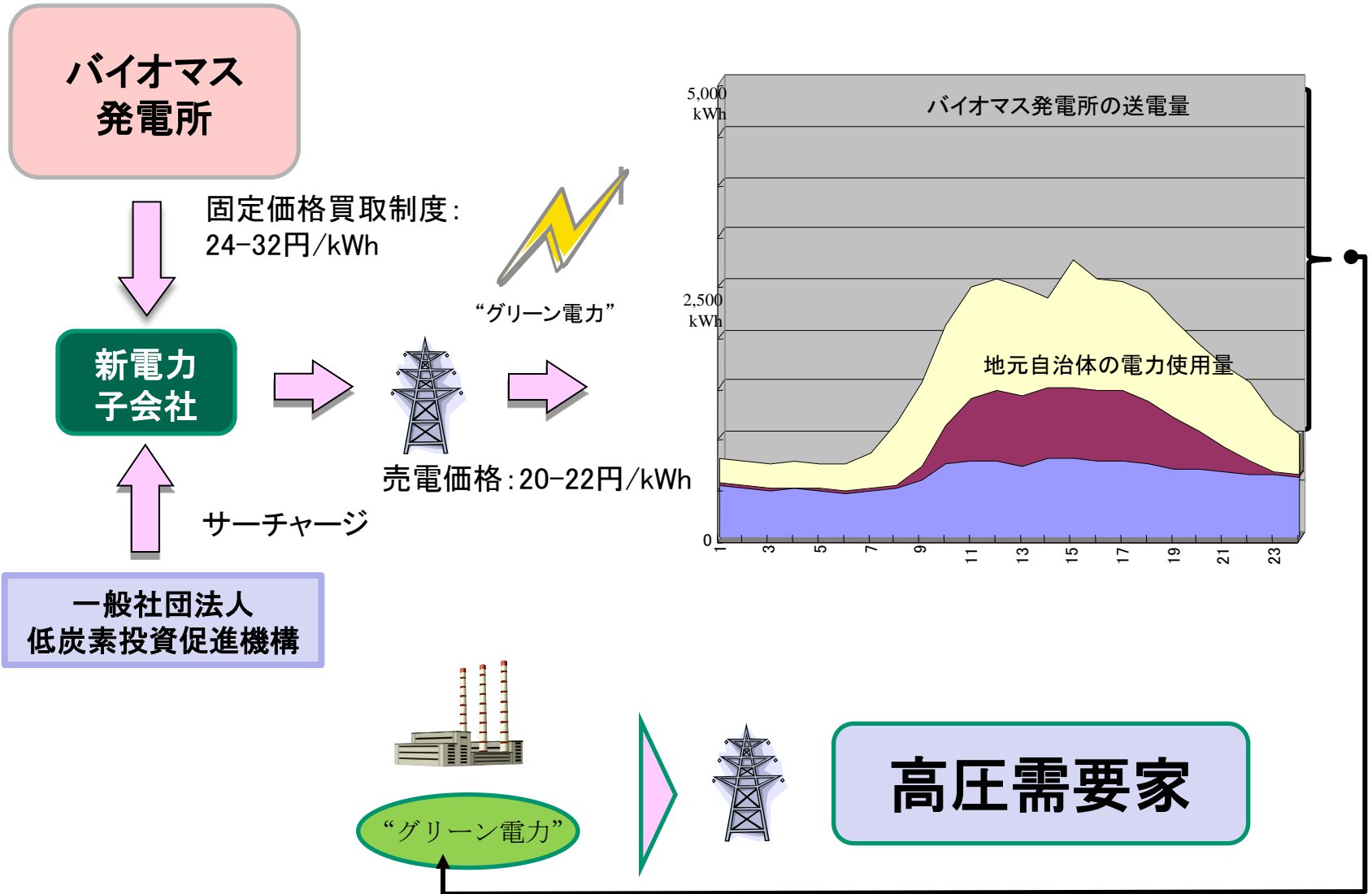


系統連系に接続、地域の公共施設に売電



バイオマス発電所で燃料として利用

# 【バイオマス発電事業のモデル】



## 【資料取扱上の注意】

本資料に記載されております当社の今後の業績に関する見通しおよび事業環境につきましては、現時点で入手可能な情報を基に当社が独自に予測したものであります。

そのため、当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因により、当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しを修正する可能性がありますので、見通しの達成を保証するものではありません。

【本資料・IRに関するお問い合わせ先】

株式会社フジコー

経営企画室 IR担当

清水 周二

TEL : 03-3841-5431 Fax : 03-3841-5371

mail : ir@fujikoh-net.co.jp